



「氷の上の熱い戦い」

2月13日に行われた摩周ウインターフェスタ2016での1コマ。特設リンクで行われる恒例の氷上綱引き大会では、今年も熱戦が繰り広げられ、観客からは大きな歓声が上がっていました。

(関連記事27ページ)

むかしむか史 (305)

てしかがが歴史写真館 179



立場によって見え方が変わる屈斜路湖

観光地でもある生活の場

2月初旬、屈斜路湖は全面結氷しました。岸から凍り始めた湖面は少しずつ範囲を広げ、2週間ほどかけて全体を覆い尽くしました。その間、まとまった雪が降ることもなかったので、不純物の混じらない透明な氷の出現があちこちで確認でき、多くの人たちの目を楽しませてくれたようです。

凍った屈斜路湖は、日常生活の思い出話にも事欠きません。

「昔は車だって走っていたんだぞ」

「(湖畔の集落)コタンで暮らす子どもたちは対岸にある学校へ行くのに、湖を横切れればよくなるわけさ。大人たちが旗を立ててよ、歩く目印を作ったもんだ」

「池の湯に行くときはワリに荷物を載せて引っ張っていったんだども、間に氷の山ができることがあってな。これが大儀なんだわ。いちいち荷物を降ろしては氷の山を越えて、またワリに積んで…を繰り返さなきゃならんし」

今は氷が薄くなって上に乗るのが怖くなったし、そもそも上に乗る必要がない便利な時代になった…と笑いつつも、当時を鮮明に振り返る長老の言葉の端々には、どこか懐かしさがにじんで聞こえます。季節が一巡するたびに、日々の何気ない出来事も積み重ねられ、歴史となって刻まれてきました。

そしてもうすぐ、氷を解かす春がやってきます。

てしかがが郷土研究会(斎藤)

Public relations magazine

2016.3

No.739

てしかがが

主な内容

- 3月は町税滞納整理強調月間です…②
- 協力隊通信…③
- 春の総合健診の申し込みを受け付け…④
- 第41回児童生徒読書感想文コンクール…⑧
- スプレー缶カセットボンベの分別出し方が変わります…⑮
- 夜間納税窓口開設のお知らせ…⑳

てしかがが 2016.3

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています